

設立趣意書

我が国の戦後の復興とその後の高度成長は目覚ましいものがあり、世界に誇れるような成長を成し遂げてきました。

しかし一方では、価値観の変化とともに、日本人の生活が豊かになるなかで様々な問題が浮上してきました。特に核家族化と少子高齢化の進展は全国で深刻な問題を生じさせていますし、中津川市全体、そして私たちが生活する中津西地域に於いても然りです。

かつて、私たちは「互いに支えあう形」で生活や各種の活動、仕事を行ってきましたが、何時の頃からかそのような形態が個人主義という考え方の進展の中で形骸化してきました。

また、医療の進歩により平均寿命が大きく伸びている一方で出生数は年々低下している状況です。高齢者の介護や一人暮らしの増加により、福祉の問題も複雑化するとともに、生活する若い世代にも大きな負担となってきています。核家族化や離婚等の増加も子供たちに大きな影響を与え、非行やいじめの問題も大きくクローズアップされており、昨今のコロナ禍では、子供の貧困というような問題を助長させています。

このような問題に対しては、最後は行政に頼らざるを得ないような認識があります。しかし、人口減の状況にあって行政も年々職員が減少しており、今後どうしたら良いのか、関係者皆が悩んでいるように感じます。

さて、「まちづくり」活動は、地域の様々な問題を地域の皆で考え、地域にあった答えを見つけて行こうとする活動であり、必要性によって行政とのパイプ役にもなって解決策を探る活動です。そしてまた、地域の中にいる子供たちが将来「このまち」に住みたい、住み続けたいと思えるような「支えあいのあるまち」を作る活動でもあります。

本格的な「まちづくり」の取組みは、平成27年からの子供向け地域学習冊子「私たちの西ちいき」作りから始まっていますが、西地域の皆さんや市の方々にもご協力を賜り、いろいろな協議や視察、勉強会などを経てようやく「中津西まちづくり協議会」が日の目を見ようとしています。

新しい組織では、福祉の観点から「地域福祉部会」、地域の安全の観点から「安全安心部会」、いきがいつくりと子供の教育の観点から「文化スポーツ教育部会」、そして地域全般の活動の観点から「総務部会」を作りました。今後様々な問題が生じる中で必要に応じて活動を増やしていこうと考えていますので、多くの方にご参加頂きたいと思えます。ご協力をお願い申し上げます。

現段階では、中津西まちづくり協議会の事務所はサンライフ分館内となりますが、これを機に地域課題への対応、人づくり、地域づくり、交流拠点としての「中津西交流センター」の実現に向けて、さらに活動を発展させていきます。

まちづくり協議会設立にあたり、多くの方々に感謝申し上げますとともに今後に対しましてもご協力頂きますようお願い申し上げます。

中津西まちづくり協議会設立準備会（西地区区長会） 会長 原 善治